

名古屋名駅ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



～人類に奉仕するロータリー～

Rotary
Club of Nagoya Meieki

名駅ロータリークラブ 会長方針「一隅を照らす」

スローガン「超我の奉仕」

名古屋名駅ロータリークラブ
承認：1991年4月17日
例会日：水曜日 12:30～
例会場：名鉄ニューグランドホテル

会 長：藤井 圓隆
副 会 長：大輪 稔
幹 事：神保 誠
クラブ会報：川口 益弘

2016-17年度 R.I. 会長
ジョン F. ジャーム

●名古屋名駅ロータリークラブ 事務局：TEL.052-453-0808 FAX.052-453-0800 E-mail: meiekirc@f5.dion.ne.jp http://www.nagoya-meiekirc.com

第1211回例会

(和 食)

創立26周年記念例会

椿賞の植田様、これからも素晴らしい作品を作ってください！

2017年4月12日(水)

(平成29年)晴 No.35

- 司会 恒川和男 会場運営委員
- ロータリーソング「君が代」「輝く理想」
- ゲスト・ビジター紹介
 - ゲスト 彫刻家 植田 努様ご夫妻
 - ビジター 5名

名古屋宮の杜RC 大口弘和君
高木 勝君、増田盛英君

名古屋栄RC 原野勝至君

村本博朋君(入会予定)

- 出席報告 会員総数81名(免除者14名)
- 義務者出席53名 免除者出席8名 総数61名
- 出席率81.33% 3月29日分修正出席率98.63%



会長あいさつ

大輪 稔 副会長

本日は創立26周年記念例会です。藤井会長が欠席のため、私があいさつをさせていただきます。

本日は沢山お客様が見えております。宮の杜RCから会長の大口君、幹事の高木君、SAAの増田君、名古屋栄RCから原野君、そして、椿賞を受賞されます植田様です。植田様には表彰式の後、卓話を宜しくお願いします。

植田様は彫刻家ということで、彫刻刀を使うかお聞きしましたら、彫刻刀はあまり使わないということでした。私は趣味で、2年半程前から京都で能面を彫っています。能面には彫刻刀を使うのでお尋ねしたのですが、全然違うものようです。

能面を彫ることは最初は見えましたが、実際にやってみると奥が深く、出来上がるのに1年近くかかりました。まずヒノキの木と型紙を頂きます。木を楕円形に切って、型紙に沿って粗削りをし、また型紙に合わせて仕上げていきます。それが出来たら、アルコールで2日間あく抜きをし、裏は漆で塗装します。表は胡粉を5回程塗って、その後、髪

毛から色を塗っていきます。こう言うと簡単に思えますが、髪を1本1本描く時は手が震えてなかなか描けません。しかし2作目、3作目になると、だんだん髪のもも描けるようになってきました。

今は童子という男の子の面を作っています。うちの家内が能をやっていますので、ゆくゆくは家内にその面をかけて舞ってもらおうと思って作っていますが、家内には嫌だと言われました。

11月1週目に京都で私たちが作った面を展示しますので、興味がある方は見にいらして下さい。

□ 幹事報告 神保 誠 幹事

- (1) 4月22日(土)、次年度のための地区研修・協議会が行われます。事務局より事前に案内をしますが、出席義務者は当日、長澤次期幹事と神保が2階にて名札・資料をお渡ししますので、11:30～12:40までにお越し下さい。(昼食付)
- (2) 伊藤清志君の勤務先が移転になりました。修正シールは後日お渡しします。
- (3) 先週例会でローターアクトからフリーマーケット協賛のお願いがありましたが、4月26日(水)例会まで受け付けますので、ご協力をお願いします。
- (4) 今年度地区大会の冊子が届きました。本日受付で配布しております。該当者は忘れずお持ち下さい。

4月は母子の健康月間です

< 例会開催予定 >

◇第1212回4月19日(水) 通常例会(洋食)
外部卓話 井上明義様(株)三友システムアプライザル相談役
タイトル:「持ち家」という病

4月22日(土) 2017-18年度 地区研修・協議会
(ウェスティンナゴヤキャッスル)

◇第1213回4月26日(水) 通常例会(カレー)
神野重行ガバナーエレクトより地区活動報告
退会式 天野元成君
外部卓話 落合宏行様(株)FTS 取締役社長)

【例会後】第10回理事会
4月28日(金) 西名古屋分区分100周年記念チャリティゴルフコンパ

- (5)本日例会後、第12回GE会議、第5回AG会議が開催されます。関係各位はご出席下さい。
- (6)次々週4月26日(水)は、第10回理事会が開催されます。関係各位はご出席下さい。なお、欠席の場合は必ず委任状をご提出下さい。
- (7)受付にチラシがありますが、第2820地区・土浦南RC会員・稲本君のお孫さんが重い心臓病になり、心臓移植しか生きる道がないそうです。コロンビア大学が受け入れてくれることになりましたが、総額3億1,000万円という多額の費用がかかるということです。3月16日現在で1億6,000万円集まりましたが、まだ半分足りません。5月までに渡米して移植するという希望をかなえてあげたいと思います。チラシに振込先などがありますので、ご賛同頂ける方は宜しくお願いします。

□「ロータリーの友4月号」の紹介

クラブ情報委員会 大橋誠之副委員長
「ロータリーの友」で今回2つ気になる記事がありましたのでご紹介します。14頁にはロータリーの女性会員のことが書いてあります。36頁には「ロータリーと歌」という頁があり、なかなか面白い記事でした。皆さん、後でゆっくり読んで下さい。

女性会員と言えば、先週、中根さんが入会されました。名駅RCとしては12人目の女性会員です。名駅RCは今日で26年ですが、初めて女性会員を迎えたのは、なんと17年前の2000年でした。岡村つね子さんが名駅RCの女性会員第1号です。今までに12名が入会され、残念ながら5名が退会されて、現在7名です。その中で、私が期待していることがあります。2年後には初めて名駅RCから女性会長が生まれます。去年のクリントンさんや、東京都知事の小池さんなど、色々頑張っている女性がいまいますので、名駅RCも初めての女性会長と共に、新しいステップを歩みたいと思います。

現在の女性会員は7名ですが、会員総数は81名ですから、会員の1割で8名です。もう1人増えれば1割になりますが、1割と言わず、2割、3割と増えていくように、これからも温かく女性会員を迎えたいと思います。

第26回椿賞表彰及び受賞者卓話

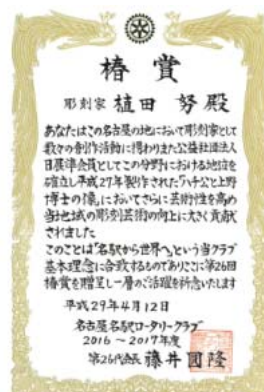
◇椿賞受賞者紹介

椿賞委員会 服部清純委員長

第26回椿賞を受賞された植田努様は、2001年名古屋芸術大学大学院美術研究科を修了後、天白川沿いにアトリエを構え、名古屋に軸足を置いて創作活動をされています。この間、第38回日彫展の優秀賞、第42回及び第44回日展で特選を受賞。現在は公益社団法人日展準会員であり、大垣女子短期大学デザイン美術学科講師をされています。最近の主な作品は、東大農学部キャンパス内の「ハチ公と上野博士の像」(2015年)、高野山奥の院の慰霊碑「共助」のレリーフ(2016年)、企画展「THE NEXT ～次代を創る10人の表現者たち～」出品(2016年)など。名古屋地域の芸術文化の向上に貢献されています。

◇表彰式

大輪副会長より、表彰状と目録が贈られました。



◇第26回椿賞受賞記念卓話



彫刻家 植田 努様

名駅RCの皆様、椿賞という大変名誉ある賞を頂き、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。大変光栄に感じると共に、こういった素晴らしい賞を頂けたということは、今まで自分が彫刻家としてやってきたことは間違いではなかったなと感じました。

しかし、私のこれまでの42年間は、常に人に支えられていた人生だったと思っております。自分も含め、人というのは常に支えてもらったり、お互いに支えあったりしなければ生きていけない生き物かもしれないと、最近実感しております。

特にそれを強く感じるようになったきっかけがあります。1年程前に高野山奥の院の慰霊碑につけるレリーフの制作依頼がありました。レリーフとは平面上の彫刻です。そのテーマが、共に助けると書く「共助」でした。「共助」と言ってもなかなか全体のイメージが思い浮かばないまま、思い浮かんだところから作り始めることにしました。例えば、車椅子に乗っている人を優しく支える若者、杖をついた老人の手を優しく引いて歩く子供、赤ちゃんを抱いた母親を温かく見守るそのまた母親、盲目の人が盲導犬を連れて歩くのを見守る子供などです(①)。

これは意識していなかったのですが、誰かが誰かを見守っているという構図に自然になっていったのです。人というのは、特別にどうこうする訳ではなくても、見守ったり見守りあったりすることが、支えあうことに繋がってくるのかな、などと、自分で作っておきながらそう感じました。



自分に置き換えると、妻に支えてもらい、子供たちに応援してもらい、妻の両親にも助けてもらい、そして彫刻家としての私を応援してくれる方々のおかげで今がある、と思うようになりました。そして、この度は名駅RCの皆様を支えて頂く形となりました。言葉では言い表せないくらいの感謝の気持ちでいっぱいです。私は彫刻家ですので、このご恩には、少しでも良い彫刻を多く作って、この人に椿賞を与えて良かった、と思って頂ける努力をしていくことでお応えしたいと思っています。

また、私は現在、大垣女子短期大学でデザイン美術学科の教員をしておりますので、少しでも多くの学生を立派な社会人として送り出すことも最近の目標としています。椿賞を頂いたことをしっかり胸に留めて、彫刻家として、大学教員として社会貢献をしていけたらなと思っています。

さて、ここからは東大に設置した「ハチ公と上野博士の像」について、制作から除幕式までの工程をご紹介しますと思います。しかしその前に、まず下の②ですが、これは2010年に日展に出展した作品です。見ての通り、豚が2頭います。日展では人体が主流で、なかなか動物彫刻は認めてもらいづらいところがありました。でも、私は特に動物が好きで、幾度となく動物彫刻を作ってきたので、日展でも動物彫刻を出したのですが、ありがたいことに、この作品で特選を頂きました。

右上の③は、2012年に日展で特選を頂いた作品です。私の師匠に文化勲章を貰っている中村晋也という先生がいて、その先生に名目上は仏跡調査ということでインドに連れて行ってもらいました。先生方はお釈迦様の足取りをたどる旅をしていたのですが、私はお釈迦様よりも、普通に外に放たれている牛や他の動物たちに目を取られてしまい、そちらの写真を撮ったり、デッサンをしたりしておりました。たまたま通りかかった少年が、沢山の牛を誘導している風景がとても美しく、こういった情景が展覧会会場に再現されることを思い描きながら、この作品を作りました。

そして、これもたまたまですが、東大の先生が「ハチ公と上野博士の像」を作るために色々な展覧会場を回っていて、この作品が目にとまって候補の1人に入れてもらいました。あの時、インドに行ってもこの作品を制作していなければ、「ハチ公と上野博士の像」の仕事もなかったと思います。本当に偶然が



重なったということです。そして、依頼を頂いて、「ハチ公と上野博士の像」を作ることになりました。

彫刻と言うと皆さんは石を彫ったり、木を彫ったりというイメージが強いと思いますが

が、私の場合は彫刻の中でも彫塑というジャンルで、土を扱う彫刻家です。原型を土で形作っていきます。

④が「ハチ公と上野博士の像」の最初の状態で

土だけですと崩れてしまいますので、必ず中に芯棒を入れます。太い鉄芯と木を組んで芯棒にし、そこに粘土をつけていきます。手前にある作品はエスキス（小形の習作）です。「ハチ公と上野博士の像」を作る選考のために作ったもので、最終的にこの作品により選んで頂きました。これをもとに、実際の作品を作ります。

原型を作り始めたのは7月頃のすごく暑い夏の日でした。粘土をつけながらだいたいの形を作っていくのですが、この粘土は陶芸用の土とほとんど変わらない、いわゆる水粘土です。そのまま放置しておくとも固まってしまうので、必ず作業が終わった後には濡れた布を巻いてビニールをかぶせ、乾かないようにします。朝は30分かけてそれを取り、制作をして、作業が終わったら30分かけて濡れた布を巻くという、少し面倒くさい仕方で作っていきます。

ハチ公と上野博士は別々に分けて作っているのですが、出来上がりがバラバラになってしまうように、1日の仕事が終わる時には必ず1つに合わせ、その日の状態を見るようにしています。

粘土の段階で仕上がったのが⑤です。

しかし粘土のままですと、重たく、崩れてしまうので、持ち運びが出来ません。そのため、石膏の型を取って素材を粘土からFRP樹脂に置き換えます。

型を取るために、石膏をかけていきます。まずシャビシャビ状の石膏を何層もかけ(⑥)、次に少し硬い石膏を2cm程の厚さに均一に塗り、頑丈に外型を作ります。

次に、あらかじめ入れ



ておいた切り金という板の境目から石膏をパカッと取って窓をあけると、中の粘土が出てきます。原型で作った粘土は、型を作ると全部くり抜いてしまいます(⑦)。最初にあった針金や木の芯棒も全て抜き取ります。型はいくつかのパーツに分かれています(⑧)。

中を全部抜き取ると、水で洗い、乾かします。次に、石膏とFRPがうまくはがれるように離型剤を塗ってからFRPを塗り込みます。FRPは揮発性があり、有毒性が高いので、防毒マスクをしながら作業をします(⑨)。塗り込んだら、中を木で補強します。

石膏の型を割り出すとFRPの状態が出てきます(⑩)。型で作ると言うと、何個も何個も量産出来るようなイメージがありますが、石膏の場合、型はバラバラになってしまいますので、1つのものしか取れません。

石膏を全部割り出しても、まだ原型が仕上がった訳ではありません。穴が開いていたり、バリがあったりすると修正します。粘土と違ってヘラ1本では直せませんので、時にはグラインダーなどを使って削っていきます(⑪)。

修正が終わってFRPの原型が出来ても、それで終わりではなく、ブロンズ業者に持っていき、ブロンズ像にしてもらいます。最終的にブロンズにした時の色をブロンズ業者に伝えるために、原型にはイメージの色をつけておきます。

やっとFRP原型が出来上がったところ(⑫)。これを富山のブロンズ業者に持っていき、



先程のFRPから今度はシリコン型を取って、それに蝋を入れて原型を作ります。この段階で、また富山に伺って修正をします。職人さんがしっかりやってはくれますが、どうしても自分で見ないと納得がいかないの、自分で足を運んで納得するまで作りあげていきます(⑬)。



蝋の原型が出来ると、砂型を取ってそれを焼きます。焼いて溶けた蝋の中にドロドロに熱して溶かしたブロンズを流し込み、ブロンズ像の完成です。それを現地に設置し、除幕式が行われました(⑭)。

以上になります。最後になりますが、椿賞を頂いたということをしっかり胸に留めて、今日からまた新たな一歩を踏み出していきたいと思います。名駅RCの皆様、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



ニコボックス

- チャーターナイトでは大変お世話になりました。神野ガバーエレクト、加藤次期地区幹事、藤井会長、ご出席ありがとうございました。
- (名古屋宮の杜RC 大口弘和君、高木 勝君、増田盛英君)
- 満開の桜の下、孫が小学生になりました。植田 努様の椿賞受賞、おめでとうございます。(清水順二君)
- 植田 努様、第26回椿賞受賞おめでとうございます。「上野博士と忠犬ハチ公」の像を東大農学部で拝見して、素晴らしいことに感激しました。(小室健次郎君)
- 本日は記念例会です。椿賞・植田様、おめでとうございます。また、卓話宜しくお願い致します。(大輪 稔君)
- ①26周年記念、おめでとうございます。②椿賞受賞者、植田様、おめでとうございます。(神保 誠君)
- ①26年の我がクラブの歴史に感謝して。②42年の我が夫妻の歴史に感謝して。(神野重行君)
- 植田様、椿賞受賞おめでとうございます。これを機会に益々のご精進をお祈り致します。(服部清純君)
- 植田様の椿賞受賞をお祝い申し上げます。今後とも素晴らしい作品を制作して下さい。期待しています。(大橋昭治君)
- 本日、2回目の出席です。今週末4月16日が、次男の嫁の誕生日です。(石川正裕君)
- 本人誕生日。ゴールドカードになりました。誕生日はいつも仕切り直し、平和な日本に住み、良かったと思うこの頃です。(鈴木康代さん)
- 4月16日、34回目の結婚記念日を祝して。(天野元成君)
- 中野 健君の回復、おめでとうございます。(堀田豊彦君、日比野三吉彦君、小野沢透君、安藤隆利君)
- 大輪副会長、期待しています。(小西忠昭君)
- 健康に感謝して。(5名)
- また、配偶者誕生日の方1名、コーヒー代として1名、その他1名の方よりご協力頂きました。